水産ねり製品業界と消費者団体との懇談会

魚の値上がりを監視

市、価格調査を実施

二百㌫問題で魚の値段が異常に高くなり、また思うように魚が手に入いらない―という消費者の声に答えて市では、きる五月二十七日商工会議所で、水産ねり製品業界と消費者団体との懇談会」を開催しました。

席上、消費者団体側から、台所を預かる主婦として苦しい立場を訴えました。

「新聞報道によると、大手水産会社がこの所大きな利益を上げているが、〝売りおしみ、魚ころがし〟などによるものではないか。冷凍魚が出まわっているが、〝魚かくし〟にあっているせいかおいしくない」

「塩ますを買ったが、普段がとれていないからだ」

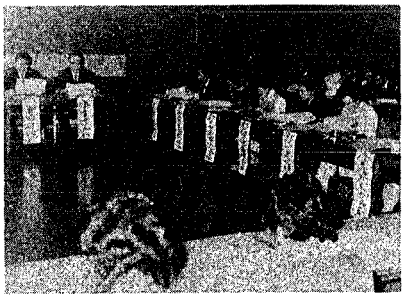
また、市蒲鉾組合では、「冷凍すり身は、工船すり身（高級すり身で、主としてねり製品の原料）と陸上すり身（普通すり身、主として竹輪、揚げ物の原料）とに分けられる。今、問題になっているのは、陸上すり身の方（すけとうだらが主な原料）で五十一年実績、十八万㌧、五十二年予定、十八万㌧。また、価格は、五十二年一月、一㌔百八十円、五月、二百八十円以上になっている。

しかし、現在では金を出しても原料を買えない状態で、原料を入手すること自体がむずかしい。今月か来月で原料がきれる。すり身については、大手水産会社などが〝売りおしみ〟をしているのは明らか。消費者からも協力して出させてほしい」―と実情を訴えました。

一方、市は、市民の声を受けて、消費生活をよりよくするため委嘱した〝くらしの監視員〟百人の協力をえて魚の価格調査を実施します。

この調査では、今月十日、二十日、三十日、の三回にわたり〝あじ、さば、いわし、いか、たらこ、塩ざけ〟の六種類の魚を対象に行い、各小売店をまわり異常な値上がりの続く魚の値段監視します。

さらに、漁獲量を増やすために、人工漁礁（魚のアパート）の拡大やさけ・くるまえびの放流など〝獲る漁業から育てる漁業〟をめざし、なお一層内水面漁業に力を入れ少しでも魚の値段が下るよう努力をしていきます。



消費者団体側から〝魚の値段が高い〟などの意見が多かった懇談会（5月27日商工会議所で）

魚の生活史 ①（水族館）

コバンザメ

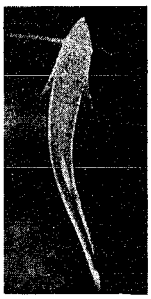
なぜに私がこんなガラスなんぞに吸いついているのか？　答えはかんたん。ここしか吸いつけるところがないからです。

私も成長すれば六十㌢から八十㌢にもなるのですが、何せまだ稚業の身。まだ二十㌢くらいしかありません。それで、大きな本物のサメやブリなどといっしょにしたら、逆にたべられてしまうんじゃないかという水族館のおニイさんたちのとりはからいでこうやって小さなチョウチョウウオやスズメダイたちといっしょにいるわけです。

ところがぎっちょん、それが運のつき。

本来なら私なんか人サマのおなかに吸いついてらくらくとエサをとることもできたんですが、ならざがさなくたって定期的に上から落ちてくる。いったいどういう仕掛けになってるんでしょうかねえ？

ところで、さっき〝本物のサメ〟といいましたが、私たちコバンザメはジョーズなんかのサメとは縁もゆかりもございません。念のため。



ガラスに吸いついて離れない〝コバンザメ〟

愛の献血ありがとう

今年度は一万八千本を目標

市では、「市民の生命は、市民お互いの献血で守りあおう」―と愛の血液助け合い運動を全力で展開してきました。

その結果、昭和五十一年度は一万四千八百五十一本を確保しました。

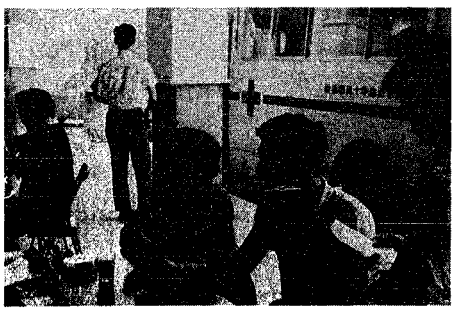
ご協力ありがとうございました。

五十一年度は、民間事業所、事務所、官公庁、学校、自治会などをはじめとする市民の皆さんの深いご理解と暖かいご協力により、「ゆうあい号」が延べ百六十日出動して、目標の一万四千二百七十本を上回る、一万四千八百五十一本を確保することができました。

献血者は、昭和四十九年度が八千七十人、五十年度が一万三千六百九十八人、五十一年度が一万四千八百五十一人と増え、愛の血液助け合い運動の参加気運が、年々高まってきましたが、輸血用血液の需要が交通事故、労働災害の増加や医療技術の進歩に伴い増加の一途をたどっており、市内医療機関での保存血液使用量が、献血の二倍の約二万七千本となっておりまだ不足ぎみです。

五十二年度の目標は、前年度比約三千七百本増の一万七千九百六十本に決まりました。

だれでも、いつでも、どこでも安心して輸血が受けられるよう市民の皆さんの一層のご協力をお願いします。



だれでも、いつでも、どこでも安心して輸血が受けられるために、どうぞ献血を。

五十二年度 公害モニター決まる

公害に関する意見や提言をしていただく公害モニター三十人が決まりました。（敬称略）

▼戸田昇（上所島）▼慶田敦子（幸西四）▼佐藤英子（小針南台）▼長谷川亨二（浦山二）▼姉崎憲弥（上新栄町）▼伊藤曠子（笹口二）▼大谷信雄（関屋大川前一）▼新沢彰（白山浦一）▼辺義雄（紫竹）▼長谷川美枝子（山ノ下）▼服部清蔵（臨港町三）▼本間ヨシ子（月見町）▼佐藤正男（内野町）▼菊地七郎（槇尾）▼井越誠（松浜町）▼小幕市太郎（新崎）▼村山審（松波浜町三）▼東湊町通一）▼菊地弘子（学校町二）▼後藤妙子（山木戸）▼中静真清（石山）▼坂田正一（沼垂東二）▼高島英一（中野山）▼渡辺義雄（紫竹）▼長谷川美枝子（山ノ下）▼服部清蔵（臨港町三）▼本間ヨシ子（月見町）▼佐藤正男（内野町）▼菊地七郎（槇尾）▼井越誠（松浜町）▼小幕市太郎（新崎）▼村山審（松波浜町三）

民芸品（鳥凧）製作講習会

期日　六月十八日午後六時半　六月十九日午後一時

会場　市勤労青少年ホーム

材料費　百円

講師　後藤脩平

申し込み、問い合わせ　六月十七日までに、電話（☎二二―二七二八）で市勤労青少年ホーム（古町十三）へ。

あなたも「一日補導員」にどうぞ

補導センターでは、毎月十五日を「一日補導員の日」と定め、市民の方から一日補導員になっていただき、市補導員といっしょに街頭へどうぞ。

○**毎月十五日**（土・日曜日および祝日の場合は翌日）

○**時間**　午後二時半～四時半。

○**申し込み**　実施一週間前申し込み、**お問い合わせ**は、新潟市青少年補導センター　電話二八―一〇〇〇番　内線五五五・五五六

補導員を体験していただいております。ふるってご参加ください。

婚前学級

定員　80人（先着順）

会場　中央公民館4階会議室

申し込み　6月22日まで西保健所母子保健係へ電話で

内容

6月23日(木)	6月30日(木)
・受付　午後5時半 ・血液検査（希望者のみ） ・映画「選ばれた道」 ・講演「健全な結婚生活のために」「奇形児を生まないために」 市民病院産婦人科科長　布川　修 ・受胎調節個人指導	・受付　午後5時半 ・血液検査（初回未受診者） ・講演「家庭のあり方について」 県立女子短大教授　岸井　勇雄 ・家族計画について 西保健所 青木　英子 ・受胎調節個人指導

老人の出張健康相談

日時　6月14日午前10時～正午、午後1時～3時（毎月第2火曜日開催）

会場　市青年の家（弁天町3－3－2）

対象　60歳以上の方、またはその家族

献血車「ゆうあい号」

どうぞ、ご協力をお願いします。

月・日	時間	会場
6・13	午前9時半～午後3時	日本興業銀行前
6・15	午前9時～午前11時	新潟サンリン（山木戸下屋敷）
6・15	午後1時～午後3時	日本通運新潟支店（万代3－8－10）

幼児食事講習会

日時　6月21日午前10時～正午

会場　東保健所栄養指導室

対象　1歳～5歳までの幼児をお持ちのお母さん

持参品　エプロン、三角布

申し込み　電話（☎41－4111）で予約を

離乳食講習会

〈東保健所〉

日時　6月15日午後1時～3時半

会場　東保健所栄養指導室

持参品　母子健康手帳

〈西保健所〉

日時　6月16日午後1時半～3時半

会場　西保健所講室

持参品　母子健康手帳

血圧講習会

〈西保健所〉

日時　6月16日午後1時半～4時

会場　市勤労青少年ホーム

〈東保健所〉

日時　6月17日午後1時半～3時半

会場　北山公会堂

妊婦貧血教室

日時　6月23日午後1時半～3時半

会場　東保健所

申し込み　電話（☎41－4111）で、東保健所母子係へ。

妊婦相談

東保健所　6月14日・21日・28日午後1時～2時半

北地区保健センター　6月21日午後1時半～2時半

持参品　両会場とも、妊娠届出書、医療費助成申請書（申請該当者は関係書類）

健康相談

午後1時半～3時

月・日	地区	会場
6・17	石山	老人無料休憩所石山荘
6・17	松浜、南浜、濁川	北地区保健センター